

第 75 回日本学校農業クラブ全国大会令和 6 年度岩手大会

平板測量競技会事前 Q & A に対する質問への回答

※表中左端の 1, 2, 3 の数字は関係する作業(第 1 次作業等)を表しています。

※この回答については、令和 6 年度岩手大会に限り、適用します。

作業別	No.	質 問	回 答
1	1	Q&A32 について開始時に測量針を打ってある状態と言うのは、準備できましたと言う前ですか、後ですか。この場合は作業開始と見なされないのでしょうか。	図紙の中に打ってあれば、測量作業をしたと見なします。
1	2	方位について、Q&A41 のように誰が行っても良いとなっていますが、一次作業終了時の記載事項について、測点番号や出場校番号、縮尺の記入は 3 人のうち誰が行っても良いのでしょうか。	良いです。
1	3	Q&A48 において、評定(すえつけ)の際に求心器が三脚に接触してしまう、または下げ振りが測点に当たった場合、減点の対象としませんかとありますが、三脚に求心器や下げ振りがあたり、音が発生した場合は減点になりますか。	減点の対象となりません。 ※減点の対象とするものは、不正と思われる行為、他チームの作業の妨げになる行為、道具類の扱いが悪いものとします。本競技会は、平板測量の測量技術を競うものと考えています。
1	4	Q&A69 の回答には、閉合誤差が 10cm 未満の場合は結線して良いとあるため、Q&A64 の回答にある「閉合誤差が生じた際には・・・」の意味として、10cm 以上の閉合誤差(1/200 のスケールで 1 目盛り以上の誤差)が生じた際において、「No. 1」を付けるか付けないかの判断を各チームに委ねるという解釈で良いのでしょうか。	良いです。
事前 Q&A の No.70 の質問に対する回答について、訂正します。			
1	70	第 1 次作業の終了合図を行う前に、第 2 次作業に向けて対角線の位置やおおよその長さを確認すると減点になりますか。また、確認の際に三角スケールを使用しても良いですか。	<u>第 1 次作業の間に、第 2 次作業・第 3 次作業の手順について打ち合わせをすることのみとして下さい。三角スケールでの長さを確認する行為は減点の対象となります。</u>
1	5	Q&A70 において、第 1 次作業の終了合図を行う前に、第 2 次作業に向けて対角線の位置やおおよその長さを三角スケールで確認する行為だけでなく、対角線の測定順番などの打合せをすると減点になりますか。	第 1 次作業の間に、第 2 次作業・第 3 次作業の手順について打ち合わせをすることのみとして下さい。
1	6	Q&A70 において、第 1 次作業の終了合図を行う前に、第 3 次作業に向けて三角形の区分などの打合せをすると減点になりますか。	
1 2	7	Q&A79 の回答では「第 1 次作業では 0 点を先(未知点側)にして下さい」とあるが、No1～No. 2 が 30m 以上の場合は、0 点を No. 2 へ合わせて中間点までを測距し、その後、中間点から No. 1 までを測距するということでしょうか。	30m 以上の区間の測距のやり方については、各チームの判断で行って下さい。ただし、0 点は先(未知点側)にして下さい。

1		8	一測長(30m)以上ある測線の測距について、Q&A79 には、第 1 次作業では「0 点を先(未知点側)にして」との記載があります。仮に、中間点に測距用ピン(ピンポール)を刺す位置がきりの良い数字付近ではなく、おおよそ測線の間中付近だった場合、2 回に区別して測距を行い、足し算をした合計値を測線長とします。その際の測定順序に関してですが、先に既知点から中間点の区間を測距し、進行方向に沿って移動した後、中間点から未知点の区間を測距する方法が良いのか、中間点から未知点の区間を先に測距し、その後、進行方向に対して逆戻りをして既知点から中間点の区間を測距する方法が良いのか、どちらがふさわしいのか、それともどちらでもかまわないのか教えて下さい。	巻き尺の 0 点が未知点側にあるように測定されれば、測定順序は問いません。
事前 Q&A の No.87 の質問に対する回答について、訂正します。				
1		87	中間点にいるものが測距用ピンを 2 本持ち、1 本目で方向を定めて地面に刺し、2 本目を 1 本目に沿わせて、きりのよいところへ置く場合、2 本目も見通し作業は必要ですか。	<u>中間点を求める際、1 本目は必ず未知点側にポールを立てた状態で見通して求めて下さい。</u>
2		9	Q&A87 について、Q「2 本目も見通し作業は必要ですか。」A「1・2 本目ともに見通し確認を行えば減点としません。」とあるが、2 本目の見通しをとらずに距離測定した場合は減点ですか。	2 本目の見通し作業は必要ありません。従って減点の対象とはなりません。
2		10	Q&A111 について、図の左側の測点で確認する選手は測点にポールや測距用ピンを立てずに視準すると減点になりますか。	減点の対象としません。
2		11	Q&A111 について、図の右側の測点は視準される側ではありませんか。	中間点を求めるために視準する側の測点という意味になります。
2		12	Q&A114 について実施要領の指示事項に検線は No. 1~K とあれば、No. 1 側から K に向かって測距すべきかと思いますが、これが良いのであれば、No. 3~No. 5 も No. 5 側から No. 3 へ測距しても良いのでしょうか。	良いです。
2		13	Q&A115 で、第 2 次作業において、1 測長(30m)を超える測線の巻尺 0m の位置はどちらでも良いとありますが、境界線でも同様でしょうか。	どちらでも構いません。
	3	14	Q&A128 についてストップウォッチの時間をペアどうしで声に出して伝えるのはどうでしょうか。	良いです。ただし、声の大きさは他のチームの妨げにならないようお願いします。

第 75 回日本学校農業クラブ全国大会令和 6 年度岩手大会
平板測量競技会事前 Q & A に対する質問以外の質問への回答

※事前 Q & A に対する質問以外に質問があり、事務局が判断し掲載しています。
なお、この回答については令和 6 年度岩手大会に限り、適用します。

作業別			No.	質 問	回 答															
		全	1	腕時計の使用も認められていないので、選手が現在の時刻を確認するための、大きめの時計などは外業会場にありますか。	外業本部スタート台付近に時計を設置します。															
		全	2	当日は、引率者や補欠が外業を見学することはできますか。また、その時に写真を撮影することは可能でしょうか。	競技場内に設けた見学者席から見学できます。写真の撮影はできません。 競技実施要領（４）引率者及び補欠者に対する注意事項のとおりです。															
		全	3	選手の頑張っている姿を記録したいのですが、事務局で記録している写真の提供はしていただけますでしょうか。	大会における記録は係生徒が担当します。事務局とし後日、出場校へ写真の提供をしたいと計画しています。															
		全	4	ゼッケンの着用について、ゼッケンのずれ防止のため、安全ピンなどで固定することは可能ですか。	ゼッケンの紐の長さは、作業のじゃまにならないよう調整して下さい。器具点検では服装もチェックします。															
1			5	方位を書く際に磁針箱に定規を沿わせて線を引いてよいか。	良いです。															
1			6	第１作業について、25分00秒99秒で終了したチームの時間得点は10点ですか、それとも8点ですか。	全国大会実施基準のとおりです。 「25分以内で成しとげたもの…10点(満点)」															
1	2		7	外業会場のコート配置を教えてください。前年度の大会では事前に周知してもらっていたと思います。	図のようにします。 本 部 見学者席 <table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr><tr><td>D</td><td>E</td><td>F</td></tr><tr><td>G</td><td>H</td><td>I</td></tr><tr><td>J</td><td>K</td><td>L</td></tr><tr><td></td><td>M</td><td></td></tr></table>	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L		M	
A	B	C																		
D	E	F																		
G	H	I																		
J	K	L																		
	M																			
1	2		8	1次作業、2次作業時に、道具袋（釘袋）を使用してよろしいでしょうか。	実施要項 p8にあるとおり道具袋は使用可能です。必ず器具点検を受けて下さい。															
1	2		9	道具袋（釘袋）は工具刺しのような機能を持つもの（市販品）の使用は認められますか。また、工具刺しのみは道具袋として認められますか。	もともと工具刺しのような機能がついているものに限り使用を認めます。道具袋は、アリダード、定規、三角スケールなど作業服のポケットに入らないものを入れるためのものと判断します。															
1	2		10	準備時間とはいつからいつまでですか。	踏査が終わり、審査員から図紙をもらってから作業開始の合図までになります。															
1			11	方位を書く際に磁針箱に定規を沿わせて線を引いてよいか。	良いです。															
1	2		12	選手が競技中に、水分補給を行うことは可能でしょうか。また給水の時間は設けてあるのでしょうか。	競技中の水分補給は各チームの判断でお願いします。給水のための時間は特に設けません。平板測量競技会実施要項、「12 競技実施要領（３）選手に対する一般注意事項」のとおりです。															

1		13	実施要項(2)指示事項コについて、第1次作業において、補助手およびポール手、記帳手を意図的に配置換えすると減点になりますか。	減点の対象としません。
1		14	第1次作業の最終測点で選手が評定作業をした後、審査員の点検時に求心がずれていたときには選手に修正する時間が与えられますか。	実施要項(2)指示事項タとチに示しているとおりの対応となります。
1		15	踏査中及び踏査終了後から開始までに、境界線の長さを確認する行為は減点になりますか。	踏査中に方位の確認や歩測による距離の確認などをチームで話し合う(打ち合わせる)ことは可能です。
1		16	踏査中及び踏査終了後から開始の合図前の時間に、シャーペンの芯を出す行為は減点となりますか。	準備時間(審査員から図紙をもらってから開始の合図前まで)にアリダードなどを平板の上に置く、ポールを伸ばす、巻き尺の巻き取りを確認する等を行うことは準備作業と見なします。 磁針箱の押上ねじを緩める、方位を確認する、図紙上に針を刺すなどの行為はすでに作業を始めていると見なします。 測量作業と疑われる行為はしないで下さい。 測量手順の確認や競技に必要なことをチームで話し合うことは可能です。ただし、準備作業を終えたならば、準備完了を補助員生徒に伝えて下さい。
1		17	踏査中及び踏査終了後から開始の合図前の時間に、巻き尺の巻き取り部分を確認する行為は減点となりますか。	
1		18	作業を開始したと見なす行為に対する質問です。作業開始前に平板上に物を置く行為はそれにあたりますか。	
1		19	作業を開始した行為とは、例えば「北はあっちよね」とかの会話も対象でしょうか。	
1		20	踏査中の会話(作業の確認や対角線の確認等のための会話)も作業開始とみなされますか。	
1		21	踏査中及び踏査終了後から開始の合図前の時間に、伸縮ポールを2mに伸ばす行為は減点となりますか。	選手の指定はありません。平板(図面)を取り扱う選手は走らないで下さい。
1		22	第1次作業において、次の測点のへ移動時、走ってはいけないのは記帳手ですか、平板を運ぶ人ですか。	
1		23	第1次作業において、測点間の移動中、腰に付けている道具袋の中にあるアリダードや三角スケールなどがあたり、音が発生した場合は減点になりますか。	
1		24	腰に付けている測距用ピン(ピンポール)作業中に三脚や巻尺に当たり音が発生した場合でも減点になりますか。	減点の対象となりません。 ※減点の対象となる考えとしては、不正と思われる行為、他チームの作業の妨げになる行為、器具類の扱いが悪いものだけです。
1	2	25	第1作業、第2次作業の距離の復唱の時に、選手間で異なる数値が復唱されたとき、減点になりますか。	選手間での誤った情報のやり取りについて、減点の対象とはしません。
1	2	26	第1次作業、第2次作業時に声を出してメンバーに時間を伝えても良いでしょうか。	良いです。ただし、声の大きさは他のチームの妨げにならないようお願いします。
	2	27	第2次作業のオフセット野帳の記入方法について、「検線」の文字の間に対角線がきても減点にはなりませんか。	減点の対象としません。
	2	28	第2次作業開始前に、必要のない器具等を競技コート外の机に置くために、競技コート外に出ると減点になりますか。	減点の対象としません。
	2	29	Web公開用実施要項内(2)指示事項ツに、「第2次作業で使用するオフセット野帳には、(中略)出場チームごとに測量年月日等の記	第2次作業のオフセット野帳、第3次作業の面積計算簿ともに測量年月日等を記入す

			入項目があらかじめ記載されている。」とありますが、第3次作業で使用する三斜法及び三辺法の面積計算簿には、同様に測量年月日等があらかじめ記載されており、選手が記入しなくても良い状態ですか。	欄があらかじめ印刷してあるということです。 測量年月日、出場回次、競技場記号、出場校番号は選手が記入して下さい。
	3	30	全国大会実施基準の(3)-②に、「水平位置の閉合誤差は、図解法を用いて(中略)補正しなければならない。ただし、閉合誤差が極めて小さく、(中略)この限りではない。」との記載があり、Web公開用実施要領内(2)指示事項ヒには、「閉合誤差が20cmを超えている場合は図解法により補正を行う。」とあります。したがって、10cm以上20cm以下の閉合誤差が生じた際の補正方法について、これも各チームの判断に委ねるという解釈で良いでしょうか。	良いです。 ※全国大会実施基準B実施細目(e)に「(注4)境界線の外周距離は80m以上である。(平成17年10月26日改訂)」とあります。 仮に外周距離が80m、閉合誤差が20cmあった場合、No.1～No.2の測点間距離が10mであればその補正值は0.025m、No.1～No.3の測点間距離が20mであればその補正值は0.05mとなり、各測点において補正をしなければならないと理論上になります。
	3	31	第3次作業で選手が終了の合図をした後で、裏返した成果物や計算機等に触れると減点になりますか。	作業終了の合図をしたあとに、作業をしたと思われる行為については減点対象となります。疑わしい行為をしないようにして下さい。
	3	32	図解法を行う場合、境界線が80m以上になるため、図紙(A3版)に補正図を描く必要があります。斜めに書くと減点になりますか。また、記入する場所の指定はありますか。	全国大会実施基準の「(3)仕上がり図面の一例」および、「D採点基準3.図面」の内容で審査を行います。
	3	33	第3次作業において、面積計算簿の3桁区切りの「,(カンマ)」の書き方は、上を●にして丁寧でないと減点になりますか。	面積計算簿は面積を求めるためのものであり、3桁の区切りについて「,(カンマ)」記号があれば、良いです。
	3	34	第2次作業終了後から第3次作業開始までの時間内で、電卓に電源を入れる行為は減点となりますか。	電卓を持って移動する時に誤って電源が入ることも考えられますので、減点にはなりません。
	雨	35	雨天時で実施するかどうかの判断はどの時点でされますか。当日なのか前日なのかという点を確認できると助かります。	前日の段階で雨天時競技の実施を決定する場合は、19時以降に宿泊所の掲示板に掲載します。ただし、前日までにその判断を下せない場合は、大会実施要項の12競技実施要領【晴天時】、(3)選手に対する一般注意事項のサのとおりとします。
	雨	36	実施要項には、晴天時は各作業時間以外の時間にすでに作業を始めているかのようにみなされる行為は禁止するとありますが、雨天時には記載がありません。そのため、この件に関しては減点がないと理解してもよろしいですか。(例:1次作業と2次作業の間の時間に対角線や距離、検線の確認をしても減点になりませんか。)	雨天時にはありませんが、第1次作業の終了後に2会場に別れるために一度、会場の外に出てもらいます。第2次作業開始前に裏返しにしておいてある用紙を表にすることはできません。